寄り添った事業である「移 り、直営職員として市民に

告を受けました。最後に横 態を避けることができた報 受けました。次に京都市よ 続することができた報告を 掃事業を止めることなく継

業を行いながら、

市民への

感のもと、深夜1時まで作

- 、直営職員としての使命

不安と混乱を招くような事

動式拠点回収事業」を中心

に、京都市の清掃事業の経

過と現状として、

ごみ減量

として、2022年9月、

申し上げたいと思います。

横浜市の受援体制の確立 浜市より「災害復旧支援と 自治研集会が築き上げられました。

をテーマに掲げ、参加者が一体となる形を築き上げていくことを目的とした

「清掃事業の多様なテーマを多様な手法で、継続させよう『直営の必要性』」

会形式で開催してきました。

音が可から言

と、4都市から「直営事業

働組合協議会の協力のも

午前の部は、都市清掃労

各都市と

大学生からの報告

職員数 938名 現業職 595名 内 総合環境推進員 78名

くの参加者と共に築き上げた自治研集会とな

ロナウイルスが

「未知のウ

イルス」と言われていた矢

市より、2020年新型コ 受けました。最初に、神戸 としての取り組み報告」を

めた事業報告をして頂きま

をもたらした静岡県に災害

した。3本目は札幌市より 「2021年度冬季ごみ収

やリユース事業の展開を含

響により、須磨事業所が閉 先、職場内の感染拡大の影

鎖に追い込まれた時、過去

ざるを得ない状況もあった

~」として、災害級の大雪 集~雪害による収集対応

時に、ごみの収集を中止せ

の災害の教訓を活かし、



京 清 働 組 合 千代田区飯田橋3-9-3 (3237) 9995

編集責任

企画•総務局 蒸原 崇氏

一、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、 諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す

、われわれは健全なる自主的組織を確立し、

午後の部は、

業を住民に発信してい

たと捉えています。

わが組合の綱領

第59年次地方自治研究集会を開催 12月3日(日)、この日は寒さが身に染みる朝でしたが、TKPガーデン 二、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を



シティ竹橋を会場として、東京清掃組合員、区行政当局・推薦議員・関係団

体など、全体で135名の参加者が集い、第59年次地方自治研究集会を全体













































文化大学3年生の小野塚さ んより「現場で学んだ清掃 清掃 報告

> C、そして住民ニーズにも 講評を行いました。 告集としてまとめるのと併 長から全体のまとめとして 集会の最後には渡辺書記

図っていきたいと思いま を収録しますので、各地連 や各支部での自治研とし せて、 DVD に 集会の 映像 今後、今集会の内容を報 自治研活動の活発化を (西大條

治を学んでいく中で、 のあり方」と題して、 あらゆる関係者の方々と対 行政に関心を持ちはじめ、 をいただきました。 事業と今後の行政サービス 心えていきながら、直営が 発言があり、自治研その 発言がありました。行政 事であるので、住民目線 要だと認めさせることが 局の方や区議会議員から 事業を進めていきたい」







台風15号により甚大な被害 直営の必要性とは

ただきました。

議会のみなさんには感謝を らの報告は、東京清掃にと ての報告をいただきまし をすることの重要性につい るなかで、受援体制の強化 支援を行った現状と課題に っても貴重な報告になりま は災害時を想定したBCP (事業計画) を策定してい 、。改めて、この場をお借 いて、また自市において この様な場での各都市か して都市清掃労働組合協 ②直営の必要性の探求、2 を行いました。直営として なテーマとして、①自治研 も交えながらシンポジウム のアイデンティティの追求 部の中川支部長を迎え、主 委員長、京都市職労清掃支 田委員長、横浜清掃の松本 ネラーとして東京清掃の多 立教大学の藤井准教授、 本を柱に会場参加者の発言 今後の取り組み方として コーディネーターとして



